



省察的実践家としての 日本語教師の養成を考える



参加無料

｜日時｜

2025年 2月15日(土) 13:00-16:00

(12:45 受付開始)

｜場所｜

JR博多シティ 9階 (中会議室1)

｜プログラム｜

1 研究成果報告

日本語教員の省察研究－「本質的な諸相への気づき」を得る活動デザイン

研究代表者 鴈野 恵 (筑紫女学園大学)

研究分担者 佐々木 良造 (静岡大学) ・ 香月 裕介 (神戸学院大学)

2 特別講演

教師の成長を支える省察－日本語教師の専門性の議論から

館岡 洋子 (早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授)

3 ディスカッション

省察を通じた日本語教師の「態度」涵養

モデレータ 松永 典子 (九州大学大学院 比較社会文化研究院 教授)

<シンポジウムの趣旨>

本研究課題の代表者は、日本語教師養成に従事し、態度涵養の実践に取り組んでいます。日本語教師の態度を身につけるということを単に学習者への対応の方法を教えるとは捉えていません。コルトハーヘンの「ALACTモデル」に依拠するケース学習の形態をとり、深い省察を通して日本語教育観を形成しながら態度涵養を目指す研修構築を模索している段階です。

研究成果報告会では、本研究課題であるケース学習の試行で得られた成果を報告します。また、日本語教師の省察研究の第一人者である館岡洋子先生（早稲田大学）をお招きします。館岡洋子先生のこれまでのご研究をご紹介いただき、理論と実践の往還を中心にディスカッションを行います。

申込方法：右記よりお申し込みください。→<https://forms.gle/tBCrPvkdPEh9E8ey7>

定員：70名（先着順 定員になり次第締め切ります）

お問い合わせ先：鴈野恵 筑紫女学園大学 E-mail m-karino@chikushi-u.ac.jp

福岡県太宰府市石坂2丁目12-1



後援